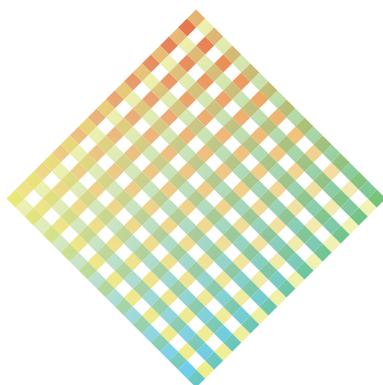


beat/entryサービス ユーザーズガイド



beat

Hello! Broadband Communication.

このページは空白ページです。

はじめに

beat/entry サービスをご利用いただき、まことにありがとうございます。

beat/entry サービスをご利用いただくためには、beat-box をお客様オフィス内に設置していただく必要があります。beat-box は beat/entry サービスの一部としてお客様にご利用いただくもので、その所有権は富士ゼロックス株式会社または販売会社に帰属します。

本書では、beat/entry サービスを本サービス、beat-box を本機器、装置または商品と称させていただきます。

本書は、本サービスをお使いいただくために必要な、本機器のセットアップ方法や注意、本サービスの紹介、利用方法、困ったときの対処方法などをまとめたものです。利用方法については、一部のみの掲載になっています。オンラインヘルプをあわせてご利用ください。

本機器はハードディスクを内蔵しているため、電源オン・オフの方法や設置条件などが通常のネットワーク機器とは若干異なりますので、必ず本書の指示に従ってください。

2010年 12月
富士ゼロックス株式会社

目次

| | |
|---------------------------------|----|
| 本書について | 3 |
| 同梱物を確認しましょう | 4 |
| 重要なお知らせ | 5 |
| 使用上の注意 | 6 |
| 安全上の注意 | 7 |
| | |
| Chapter 1 概要編 | |
| beat/entryサービスの紹介とお願い | 12 |
| beat-boxの各部の名称とはたらき | 16 |
| インジケーターについて | 20 |
| | |
| Chapter 2 導入編 | |
| セットアップの前に | 24 |
| セットアップ | 30 |
| | |
| Chapter 3 利用編 | |
| beat 設定ページを開く | 37 |
| beat 設定ページにログインする | 38 |
| オンラインヘルプを見る | 39 |
| 電源オン・電源オフの方法 | 40 |
| SSL によるメール送受信と IMAP の利用方法 | 42 |
| | |
| Chapter 4 付録編 | |
| 困ったときは | 46 |
| お問い合わせ窓口「beat コンタクトセンター」 | 50 |
| 仕様 | 52 |

本書について

本機器の性能を十分に発揮させ効果的にご利用いただくために、本書を最後までお読みください。本書は、読み終わったあとも必ず保管してください。

本機器をご使用中に操作でわからないことや不具合が出たときは、オンラインヘルプ（39 ページ）もあわせてご活用ください。

本書の表記について

本書では、操作ボタンやダイアログボックスなどを次のように記述しています。

- ・ ボタンや項目、メニューの選択項目など、クリックして選択できるものには [] でくります。また、ダイアログボックス名なども [] でくります。

例：[スタート] ボタン、[ネットワークダイアログボックス]

- ・ 入力する文字は『 』 でくります。

例：『workgroup』

- ・ 利用者ごとに異なる文字列は < > でくります。

例：<ログインした人の名前>

商標について

- ・ Microsoft、Windows、Internet Explorer および Windows Vista は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- ・ Apple、Macintosh、Mac および MacOS は、Apple Inc. の商標です。
- ・ Yahoo! および Yahoo!、Y! のロゴマークは、米国 Yahoo! Inc. の登録商標または商標です。
- ・ 一太郎は、株式会社ジャストシステムの登録商標です。
- ・ その他、文中に記載されている会社名、商品名、システム名は各社の登録商標または商標です。

本書の内容についての注意

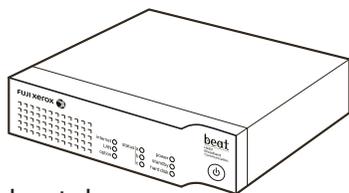
- ・ 本書に記載されている操作手順、画面やメッセージは、お使いの PC にインストールされている OS バージョンによって異なる場合があります。
- ・ 本書に記載されている操作手順の説明で用いている、シリアル番号や IP アドレス、ドメイン名、メールアドレス、パスワードなどは設定例です。実際にお客様が設定する文字列とは異なります。
- ・ 本サービスの機能、操作方法、画面やメッセージは予告なく変更される場合があります。

本書の使用上の注意

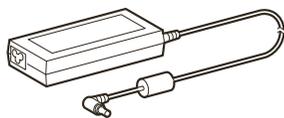
- ・ 本書の内容の一部または全部を無断で複製、転載することはおやめください。
- ・ 本書の内容に関しては将来予告なしに変更することがあります。
- ・ 本書に、誤り、乱丁、落丁などありましたら弊社までご連絡ください。

同梱物を確認しましょう

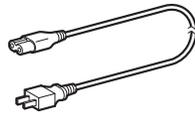
お使いになる前に、同梱物がすべて揃っているかご確認ください。万一不足や破損しているものがある場合は、beat コンタクトセンター（50 ページ）へご連絡ください。



beat-box



電源アダプター（1.8m）



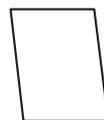
電源コード（2m）



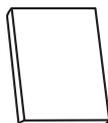
イーサネットケーブル（青色）
（5m）



イーサネットケーブル（黄色）
（5m）



はじめにお読みください



ユーザーズガイド
（本書）

重要なお知らせ

機器の取扱について

本書に記載されている条件に従い機器を設置し、また本書に記載されている方法で機器を扱ってください。そうでない場合には、故障や事故の原因となることがあり、責任を負いかねる場合がありますので、ご了承ください。

輸出について

本サービスは、日本国内において使用することを目的としています。本サービスの構成要素である本機器も日本国内における使用を目的としています。諸外国の安全法規制(電波規制や材料規制など)は国によって異なります。本機器をこれらの規制に違反して諸外国へ持ち込むと、罰則が科せられることがあります。

電波障害自主規制について

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会(VCCI)の基準に基づくクラス B 情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信妨害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取扱をしてください。

受信障害について

ラジオの雑音、テレビなどの画面に発生するチラツキ、ゆがみがこの商品による影響と思われましたら、この商品の電源スイッチを一旦切ってください。電源スイッチを切ることにより、ラジオやテレビなどが正常な状態に回復するようでしたら、次の方法を組み合わせて障害を防止してください。

- ・ 本機とラジオやテレビ双方の位置や向きを変えてみる。
- ・ 本機とラジオやテレビ双方の距離を離してみる。
- ・ この商品とラジオやテレビ双方の電源を別系統のものに変えてみる。
- ・ 受信アンテナやアンテナ線の配置を変えてみる。(アンテナが屋外にある場合は電気店にご相談ください。)
- ・ ラジオやテレビのアンテナ線を同軸ケーブルに変えてみる。

高調波について

本機器は JIS C 61000-3-2 (高調波電流発生限度値) に適合しています。

使用上の注意

本体のハードディスクに不具合が発生した場合、蓄積されたデータが消失することがあります。この場合のお客様のデータ消失による直接、間接の損害につき、当社はその責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

不正アクセス、ウイルス、通信上の不正行為により発生した障害については、当社はその責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

お客様が使用するブロードバンド回線の実効速度が 300kbps を下回った場合、本サービスを提供できない場合があります。また、オプションサービスを使用する場合には、当社は別途回線速度についての条件を設けることがあります。

安全上の注意

本装置を安全にご利用いただくために、本装置をご使用になる前に必ず「安全上の注意」を最後までお読みください。

| 各警告図記号は以下のような意味を表しています | |
|---|--|
|  警告 | この表示を無視して誤った取り扱いをすると、使用者が死亡または重傷を負う可能性がありますと思われる事項があることを示しています。 |
|  注意 | この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が障害を負うことが想定される内容および物的損害の発生が想定される事項があることを示しています。 |
| △記号は、製品を取り扱う際に注意すべき事項があることを示しています。指示内容をよく読み、製品を安全にご利用ください。 |   |
| ⊙記号は、行ってはならない禁止事項があることを示しています。指示内容をよく読み、禁止されている事項は絶対に行わないでください。 |    |
| ●記号は、必ず行っていただきたい指示事項があることを示しています。指示内容をよく読み、必ず実施してください。 |   |

設置および移動に関する警告や注意

警告

 装置の前面、背面には給排気口があります。給排気口をふさぐと内部に熱がこもり、誤動作、故障、火災の原因となるおそれがあります。

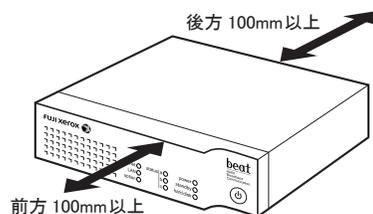
 装置の使用環境は次のとおりです。

- ・温度：5～35℃
- ・湿度：20～80%

この範囲外の環境では、誤動作、故障の原因となるおそれがあります。

 装置は必ず横置きに設置してください。また、装置を安全に正しく使用し、装置の性能を維持するために以下の設置スペースを確保してください。

- ・背面と壁や棚板などの最低距離：100mm
- ・前面と壁や棚板などの最低距離：100mm



 装置の定格電圧 100V、および、定格電流 15A より容量の大きい電源コンセントに接続してください。

-  電源の延長コードを使用する場合は、定格電圧 125V、および、15A 未満のものは使用しないでください。発熱による火災の原因となるおそれがあります。
-  同梱、または、弊社が指定した専用電源コード以外は使用しないでください。発火、感電のおそれがあります。
-  装置は、電源コードの上を人が踏んで歩いたり足で引っ掛けたりするような場所には設置しないでください。発熱による火災や感電の原因となるおそれがあります。

注意

-  以下のような場所には装置を設置しないでください。
 - ・発熱器具に近い場所
 - ・揮発性可燃物やカーテンなどの燃えやすいものの近く
 - ・高温、多湿の場所や換気が悪くホコリの多い場所
 - ・直射日光の当たる場所
 - ・調理台や加湿器のそばなど
-  装置は、装置の重さに耐えられる丈夫で水平な場所に設置してください。装置の転倒や落下などによりケガの原因となるおそれがあります。
-  装置を移動する場合は、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。電源コードが傷つき、発熱による火災や感電の原因となるおそれがあります。

利用上の警告や注意

警告

-  電源オフは、本書の「電源のオン／オフの方法」に従い、むやみに電源コードや電源アダプターを抜いて停止させないでください。ハードディスクの故障や、データの消失の原因になります。
-  次のようなときには、電源をオフにし、電源プラグをコンセントから抜いてください。その後、弊社の beat コンタクトセンターまたは販売会社にご連絡ください。そのまま使用を続けると火災や感電の原因となるおそれがあります。
 - ・装置から発煙したり、装置の外側が異常に熱くなったとき
 - ・異常な音やにおいがするとき
 - ・装置の内部に異物（金属片、水、液体）が入ったとき
 - ・装置が水をかぶったとき
 - ・装置の部品に損傷があったとき

-  この装置はお客様が危険な箇所に触らないよう設定されています。危険な箇所はカバーなどで保護されていますので、ネジで固定されているパネルやカバーなどは、絶対に開けないでください。感電やケガ、装置の破損の原因となるおそれがあります。
-  装置に内蔵しているハードディスクを抜いたり、他のハードディスクと交換したりしないでください。サービスの停止、ハードディスクの故障、データの消失の原因となるおそれがあります。
-  装置のイーサネットポート（LAN、Internet）以外のコネクタは利用できません。利用できないコネクタに周辺機器を接続しないでください。装置故障、誤動作、データの消失の原因となるおそれがあります。
-  装置を改造したり、部品を変更して使用しないでください。火災の原因となるおそれがあります。
-  装置の隙間や通気口に物を入れないでください。また、以下のものは、装置の上に置かないでください。
- ・花瓶やコーヒーカップなどの液体の入ったもの
 - ・クリップやホチキスの針などの金属類
 - ・重いもの
- 液体がこぼれたり、金属類が隙間から入り込むと装置内部がショートし、火災や感電の原因となるおそれがあります。
-  本サービスを航空機や列車等の交通制御、原子力発電所制御、人命に関わる医療機器制御などの極めて高い信頼性を要求される用途には使用しないでください。
-  雷鳴が聞こえるときには、スプリッター、モデム、ルーター、電話の配線作業は行わないでください。落雷による感電のおそれがあります。
-  電源プラグは絶対にぬれた手で触らないでください。感電の原因となるおそれがあります。
-  電源コードが傷んだら（芯線の露出、断線）、弊社の beat コンタクトセンターまたは販売会社に交換をご依頼ください。そのまま使用すると火災や感電の原因となるおそれがあります。
-  電源プラグやコンセントに付着したホコリは、必ず取り除いてください。そのまま使用していると、湿気などにより表面に微小電流が流れ、発熱による火災の原因となるおそれがあります。
-  電源コードを傷つけたり、破損させたり、加工したりしないでください。引っぱったり、無理に曲げたりすると電源コードを傷め、発熱による火災や感電の原因となるおそれがあります。
-  電源コードにものを載せないでください。

注意

-  装置の電源を入れたままでコンセントから電源プラグを抜き差ししないでください。アークによりプラグが変形し、発熱による火災の原因となるおそれがあります。
-  装置の上にものを載せないでください。装置に内蔵しているハードディスクの動作異常や、装置の変形の原因になります。
-  1か月に一度は、次のような点検をしてください。
 - ・電源プラグがコンセントにしっかり差し込まれていますか。
 - ・電源プラグに異常な発熱およびサビ、曲がりなどはありませんか。
 - ・電源プラグやコンセントに細かいホコリがついていませんか。
 - ・電源コードにき裂やすり傷などはありませんか。異常な点にお気づきの場合はただちに使用を中止し、電源をオフにし、電源プラグをコンセントから抜いてください。その後、弊社の beat コンタクトセンターまたは販売会社までご連絡ください。
-  電源プラグをコンセントから抜くときは、必ず電源プラグを持って抜いてください。電源コードを引っばるとコードが傷つき、火災、感電の原因となるおそれがあります。
-  装置の清掃および保守、故障の処置を行う場合は、電源をオフにし、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。電源スイッチを切らずに装置の清掃や保守を行うと、感電の原因となるおそれがあります。
-  連休などで長期間、装置をご使用にならないときは、安全のために電源スイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。絶縁劣化による感電や漏電火災の原因となるおそれがあります。
-  装置に貼ってあるラベルの警告や説明には必ず従ってください。

概要編

beat/entryサービスの紹介とお願い

インターネットの脅威

防御の基本

beat/entry サービスが守る範囲

beat/entry サービスが守る脅威

beat/entry サービスの防御機能

beat/entry サービス自体の維持

beat-boxの各部の名称とはたらき

前面

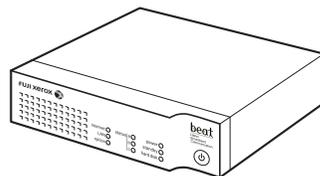
背面

上面

インジケータについて

インジケータ

インジケータが表す動作状態と対処方法



beat/entry サービスの紹介とお願い

本サービスはネットワークセキュリティーを高めます。しかし、「危ない情報が掲載されている Web ページを閲覧しない」など、お客様の日頃の注意もとても重要です。本サービスの防御機能と、お客様に日頃から注意していただきたいことを説明します。

インターネットの脅威

メールや Web ページ閲覧などのインターネット利用により、ウイルスをはじめとした、いろいろな脅威にさらされます。感染したり、攻撃されたりすると、次のような困ったことが発生します。

- ファイルが削除される。
- ファイルが改変される。
- 個人情報や機密情報が漏洩する。
- クレジットカード番号やパスワードなどが漏洩する。
- ウイルス感染しているメールをお客様や取引先宛に送信してしまう。
- 他のサーバーを攻撃する踏み台になる。
- 迷惑メールを発信する踏み台になる。
- PC の動作が遅くなる。

直接自社の業務に支障が出るだけでなく、お客様や取引先に迷惑をおかけしたり、攻撃の踏み台になり加害行為に加担することにもなります。

防御の基本

本サービスをご利用になることで、脅威の多くを防ぐことができますが、セキュリティーには 100% はありません。また、攻撃手法が開発されるスピードが速くなってきています。そのため、次のことも行っていただくことをお願いします。

- ソフトウェアを最新に保ってください。
 - ・ Windows や MacOS などの OS
 - ・ ブラウザーやメールソフト
 - ・ Microsoft Office や 一太郎などのアプリケーションソフトウェア
- 危ないものには触らないでください。
 - ・ 閲覧するだけで攻撃してくる Web ページがあります。
 - ・ 危ない情報が掲載されている Web ページほど危険です。
 - ・ 迷惑メールは開かないでください。
 - ・ 送信元などが不明なメールの添付ファイルは開かないでください。
 - ・ 不用意にリンクをクリックしないでください。
- PC にもアンチウイルスやファイアウォールを入れてください。
 - ・ ノート PC を持ち運び、外出先や自宅などでもインターネットをご利用になる場合には必須です。
- Winny や Share などのファイル交換ソフトは利用しないでください。
 - ・ 業務に使う PC では、利用しないことをお勧めします。

beat/entry サービスが守る範囲

PC やファイルサーバーなどを本サービスによって守るには、PC などとインターネットの間に本機器がなければなりません。つまり、PC などが本機器を経由せずにインターネットにアクセスできる場合には、そのPC などを守ることはできません。詳しくは、本書の「セットアップの前に」(24 ページ)を参照してください。

beat/entry サービスが守る脅威

本サービスは次の脅威から、お客様のオフィスのネットワークを守ります。

| 脅威の種類 | 通信の種類 | 通信の方向 | 防御機能名称 |
|--------------------------------------|-----------------------------------|-------------------|-----------------------------|
| 不正アクセス | すべて | 外部から開始される通信 | ファイアウォール |
| 脆弱性をつく攻撃 | Web ページ閲覧など | 内部から開始される通信の戻りの通信 | 不正な通信対策 |
| ポット感染による攻撃 | すべて | 内部から開始される通信 | 不正な通信対策 |
| ウイルス 悪意のあるスパイウェア ワーム トロイの木馬 | メール送受信 http (Web ページ閲覧) ftp | 双方向 | アンチウイルス |
| 迷惑メール | メール受信 | 外部からのメール | 迷惑メール判定機能 |
| 許可しないメール送信による情報漏洩 | メール送信 | 内部からのメール | メール送信制限 |
| ファイル共有ソフトによる感染や情報漏洩 | Winny、Limewire など | 双方向 | 不正な通信対策 |
| メッセージャーによる感染や情報漏洩 | Windows Live (MSN) メッセージャーなど | 双方向 | 不正な通信対策 |
| リモートアクセスソフトによる感染や情報漏洩 | PacketiX、VNC など | 双方向 | 不正な通信対策 |
| 業務外の Web 閲覧 | http (Web ページ閲覧) | 内部からの閲覧 | beat コンテンツフィルターサービス (オプション) |

※各防御機能の制限などの詳細は、次の「beat/entry サービスの防御機能」を参照してください。

beat/entry サービスの防御機能

本サービスがご提供する各防御機能は次のようになっています。

| 防御機能の名称 | 機能 | 制限など |
|-------------------------|---|--|
| ファイアウォール | インターネット側から開始される通信をすべて遮断します。 | ブリッジモードで動作するため ARP パケットと DHCP パケットは通過させます。 |
| アンチウイルス | 次の通信に関して双方向にアンチウイルスを行い、ウイルス、悪意のあるスパイウェア、ワーム、トロイの木馬が検出された場合には通信を遮断します。 <ul style="list-style-type: none"> メール受信 pop3 (ポート 110 番) メール送信 smtp (ポート 25 および 587 番) Web ページ閲覧、アップロード (Web メールも対象となります) http(ポート 80 番) ftp ftp(ポート21番およびデータコネクション) | SSL を用いたメール送受信は通信内容が暗号化されているため、アンチウイルスを行えません。また、IMAP には対応していません。ウイルス感染を防ぐために、それらの通信を行うポートは閉じています。設定によって開けることもできます。 https や ftps は通信内容が暗号化されているため、アンチウイルスを行えません。これらの通信はそのまま通過します。左記のポート以外は通過します。新種のウイルスなどは検出できないことがあります。 |
| 不正な通信対策 (IPS: 攻撃防御システム) | LAN 側から開始された通信の戻りの通信に含まれる脆弱性などをつく攻撃 (クロスサイトスクリプティングなど) の可能性がある通信を遮断します。また、ボット感染による攻撃などの LAN 側から開始された通信によりインターネット側に対して加害行為を行う可能性のある通信を遮断します。 | すべての攻撃を遮断することを保証するものではありません。 |
| 不正な通信対策 (アプリケーションの通信禁止) | ファイル共有ソフトウェア、メッセージャー、リモートアクセスソフトウェアによる通信を遮断します。トロイの木馬による感染や、情報漏洩を防止することができます。 | 利用するためには、遮断したいアプリケーションを指定する必要があります。対象となるアプリケーションはオンラインヘルプを参照してください。 |
| 迷惑メール判定機能 | 迷惑メールを判定し、迷惑メールの件名の先頭に指定した文字 (初期値は "spam") を追加します。メールソフトの振り分け機能などで、迷惑メールを振り分けるなどすることを想定しています。 | 利用するためには、この機能を有効にする必要があります。判定精度は 98% 以上です。ごくまれに正常なメールを迷惑メールと判定することがあります。 |
| メール送信制限 | 指定されたメールアドレス以外からのメール送信を遮断します。情報漏洩を防止します。 | 利用するためには、利用者の自動登録を無効に設定し、送信を許可する利用者のメールアドレスを登録する必要があります。 |
| beat コンテンツフィルターサービス | 指定したカテゴリーに属する Web ページの閲覧を遮断します。 | オプションサービスです。別途契約が必要です。 |

beat/entry サービス自体の維持

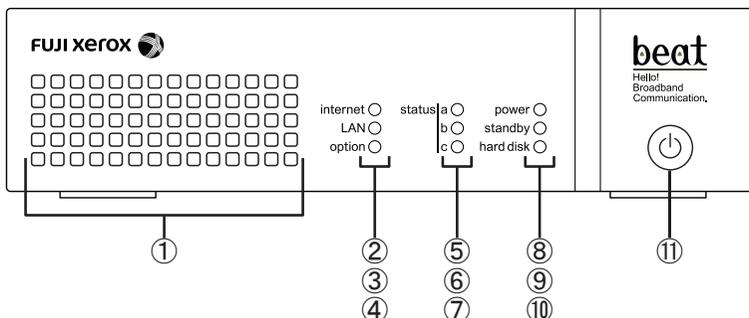
お客様のオフィスにある本機器は、beat-noc（ネットワークオペレーションセンター）からソフトウェアの更新やハードウェアの監視を行っています。

本機器が故障などで停止した場合には、beatコンタクトセンター（50 ページ）までご連絡ください。利用方法がご不明な場合も、beat コンタクトセンターまでお気軽にお問い合わせください。

また、beat お客様サポートサイト（<http://net-beat.com/support/>）でも、本サービスに関する最新情報や障害・メンテナンス情報、FAQなどを公開しています。あわせてご利用ください。

beat-boxの各部の名称とはたらき

前面



①給気口

②イーサネットポート（internet）インジケータ

背面のイーサネットポート（Internet）の接続状態を表示します。
接続中は緑点灯、通信中は緑点滅します。

③イーサネットポート（LAN）インジケータ

背面のイーサネットポート（LAN）の接続状態を表示します。
接続中は緑点灯、通信中は緑点滅します。

④イーサネットポート（option）インジケータ

現在、本サービスでは使用しません。

⑤⑥⑦ステータスインジケータ

本機器の稼働状態を表示します。
詳細は 20 ページを参照してください。

⑧電源インジケータ

本機器が稼働中は緑点灯します。起動中とシャットダウン中は緑点滅します。
詳細は 20 ページを参照してください。

⑨スタンバイインジケータ

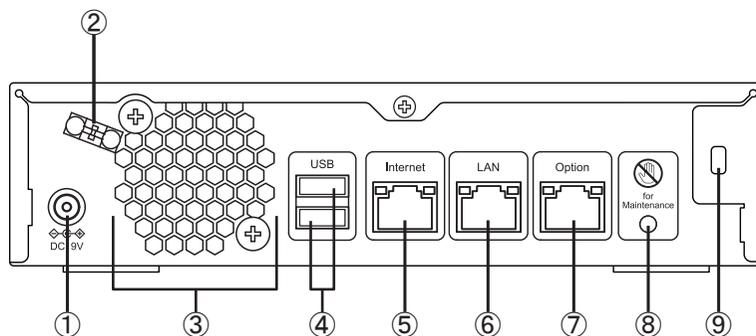
背面に電源アダプターが差し込まれ、通電時に緑点灯します。電源をオンにすると消灯します。
詳細は 20 ページを参照してください。

⑩ハードディスクインジケータ

内蔵ハードディスクのアクセス状態を表示します。

⑪電源スイッチ

本機器の電源オン、オフします。
操作方法は 40 ページを参照してください。



①電源ジャック

付属の電源アダプターを差し込みます。本機器に付属の電源アダプター以外は使用しないでください。

②クランプ

電源プラグ抜けを防止するため、電源プラグを固定します。

③排気口

④ USB ポート

現在、本サービスでは使用しません。

⑤イーサネットポート (Internet)

付属のイーサネットケーブル (黄色) を使用して、本機器とルーターなどの既存のネットワーク機器を接続します。左上の LED は前面の「②イーサネットポート (internet) インジケーター」と同じです。右上の LED は、消灯が 10BASE-T、緑点灯が 100BASE-TX、橙点灯が 1000BASE-T を表します。

⑥イーサネットポート (LAN)

付属のイーサネットケーブル (青色) を使用して、本機器とハブや PC、または既存のネットワーク機器を接続します。左上の LED は前面の「③イーサネットポート (LAN) インジケーター」と同じです。右上の LED は、消灯が 10BASE-T、緑点灯が 100BASE-TX、橙点灯が 1000BASE-T を表します。

⑦イーサネットポート (Option)

現在、本サービスでは使用しません。

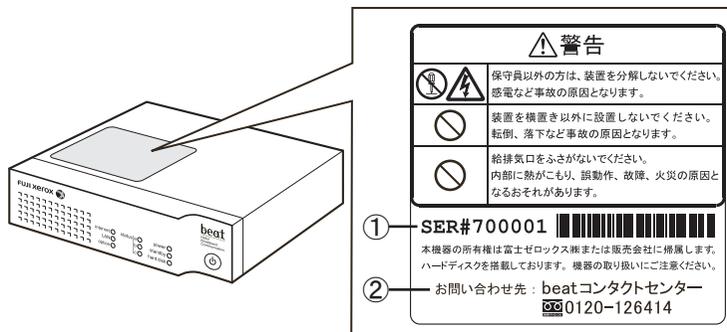
⑧メンテナンス用スイッチ

障害が発生したときに beat コンタクトセンターから操作をお願いする場合があります。通常は操作しないでください。

⑨セキュリティースロット

盗難防止用セキュリティーケーブルを装着するためのスロットです。ケンジントン社が提唱している規格に準拠していますので、市販のケンジントンロック仕様のセキュリティーケーブルを使用することができます。セキュリティーケーブルを装着すると、本機器の本体カバーを取り外すこともできなくなるため、内蔵ハードディスクの盗難も防ぐことができます。

弊社または販売会社のエンジニアが本機器の保守作業を実施する際には、本体カバーを取り外す必要があります。事前にセキュリティーケーブルを外してください。

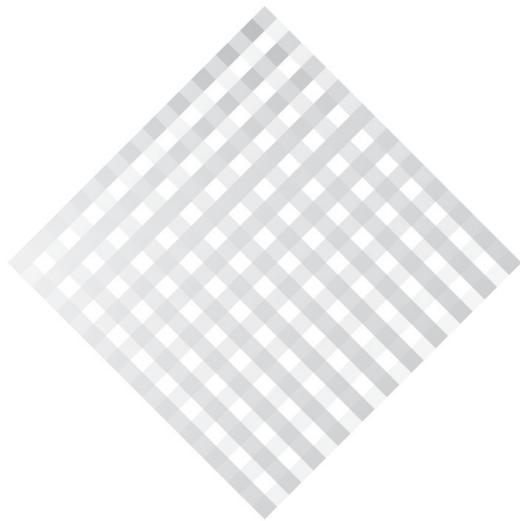


① シリアル番号

本機器のシリアル番号です。シリアル番号は、**SER#**につづく6桁の数字です。

② beatコンタクトセンターのご案内

beatコンタクトセンターは、本サービスの操作方法が不明な場合、障害が発生した場合のお問い合わせ窓口です。詳細は50ページを参照してください。

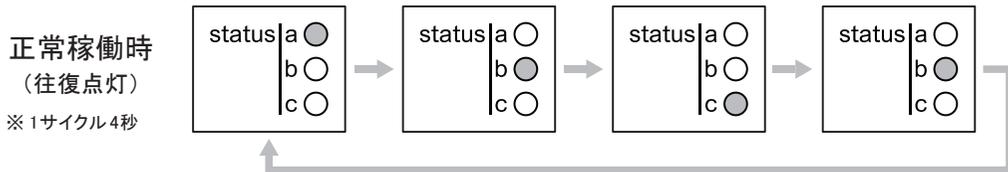


インジケータについて

インジケータ

前面にある9つのインジケータで本機器の動作状態を表します。

正常稼働時は、ステータスインジケータ a、b、c は下図のように緑点灯が上下に往復します（往復点灯）。



インジケータが表す動作状態と対処方法

起動中やエラー発生時などには、下表のように5つのインジケータの組合せにより、動作状態を表します。エラー発生時には「お願したい対処方法」の実施をお願いします。

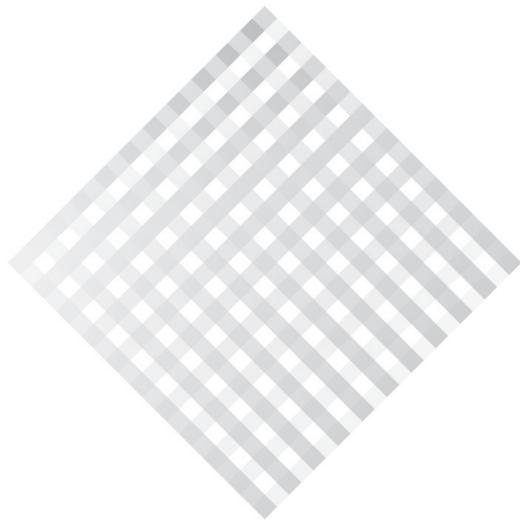
| インジケータ | | | | | 動作状態 | お願したい対処方法 |
|-------------|------------------|-----------------|----------|----------|----------------------|-------------------------------------|
| internet ○ | status a ○ | power ○ | | | | |
| LAN ○ | b ○ | standby ○ | | | | |
| option ○ | c ○ | hard disk ○ | | | | |
| power 電源 | standby スタンバイ | status ステータス | | | | |
| | | a | b | c | | |
| ○ 消灯 | ● 緑点灯 | ○ 消灯 | ○ 消灯 | ○ 消灯 | スタンバイ状態 | 起動するときは電源スイッチを押してください。 |
| | | ○ 消灯 | ○ 消灯 | ● 橙点滅 | 室温が使用環境範囲外のためスタンバイ状態 | 室温を使用環境範囲内(約5～35℃)にして、電源をオンにしてください。 |
| | | ○ 消灯 | ● 橙点滅 | ● 橙点滅 | ファイルシステムの障害 | beatコンタクトセンターへご連絡ください。 |
| | | 上記以外 | | | ハードウェア障害 | beatコンタクトセンターへご連絡ください。 |
| ○ 緑点滅 | 次のページへ | | | | | |
| ○ 緑点灯 | 次のページへ | | | | | |

| power 電源 | standby スタンバイ | status ステータス | | | 動作状態 | お願いしたい対処方法 |
|-------------|------------------|-----------------|----------|----------|-------------------------------|--|
| | | a | b | c | | |
| ● 緑点滅 | ○ 消灯 | ○ 消灯 | ○ 消灯 | ○ 消灯 | シャットダウン中 | シャットダウンが完了するまで、そのままお待ちください。15分以上電源インジケータの緑点滅が続く場合は、beatコンタクトセンターへご連絡ください。 |
| | | ● 緑点灯 | ○ 消灯 | ● 緑点灯 | ファイルシステムの検査中 | ファイルシステムの検査が完了するまで、しばらくお待ちください。20分以上この表示が続く場合は、beatコンタクトセンターへご連絡ください。 |
| | | 上記以外 | | | 起動中 | 起動するまで、そのままお待ちください。15分以上電源インジケータの緑点滅が続く場合は、beatコンタクトセンターへご連絡ください。 |
| ● 緑点灯 | ○ 消灯 | ○ 消灯 | ● 緑点灯 | ○ 消灯 | 本機器よりインターネット側にあるネットワーク機器の障害※1 | 回線終端装置（ADSL モデム、ONU など）またはルーターを再起動し、10分ほど様子を見てください。 復旧しない場合は、いったん本機器を電源オフしてから、10秒待って電源オンし、再度10分ほど様子を見てください※2。 それでも回復しない場合は、beatコンタクトセンターへご連絡ください※3。 |
| | | ○ 消灯 | ● 緑点灯 | ● 緑点灯 | セットアップ時のソフトウェア更新中 | セットアップ時のソフトウェア更新中です。ソフトウェアの更新に要する時間は、お客様がご利用になられている環境の回線速度に依存します。60分以上この状態が続く場合は、beatコンタクトセンターへご連絡ください。ソフトウェア更新中でもメールやWeb閲覧などは行えますが、セキュリティ機能はまだ働いていません。ソフトウェアの更新が完了して正常稼動（往復点灯）が始まると、セキュリティ機能が開始されます。セットアップ中にソフトウェアの更新が完了し、往復点灯になることがあります。 |
| | | ● 緑点灯 | ○ 消灯 | ○ 消灯 | イーサネットポートの接続不良 | イーサネットケーブルが接続されていること、ルーターやハブの電源が入っていることを確認してください。 |
| | | ● 橙点滅 | ● 緑点灯 | ● 緑点灯 | セットアップ時のソフトウェア更新の障害 | beatコンタクトセンターへご連絡ください。 |
| | | ● 緑点灯 | ● 緑点灯 | ● 橙点滅 | イーサネットポートの故障 | beatコンタクトセンターへご連絡ください。 |
| | | | | | | |

※1 セットアップ時に、自動ネットワーク接続が確立されなかった場合も含まれます。

※2 beat 設定ページから本機器を再起動することもできます。詳しくはオンラインヘルプをご覧ください。

※3 障害情報などを確認するため、ご利用の回線提供元やプロバイダー（ISP）についてお聞きする場合があります。



導入編

セットアップの前に

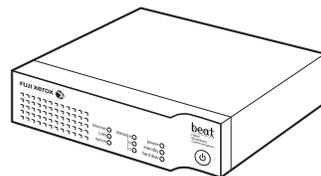
知っておいていただきたいこと

ネットワーク環境を確認してください

- ・ ルーターを利用していない場合
- ・ ルーターに内蔵のハブ機能を利用している場合
- ・ 外部からアクセスさせたい機器を利用している場合
- ・ ルーター内蔵の無線 LAN 機能を利用している場合

セットアップ

- ・ セットアップの手順を確認してください
- ・ beat-box を設置してください
- ・ ネットワーク環境に接続してください
- ・ 電源をオンにしてください
- ・ セットアップ画面を開いてください



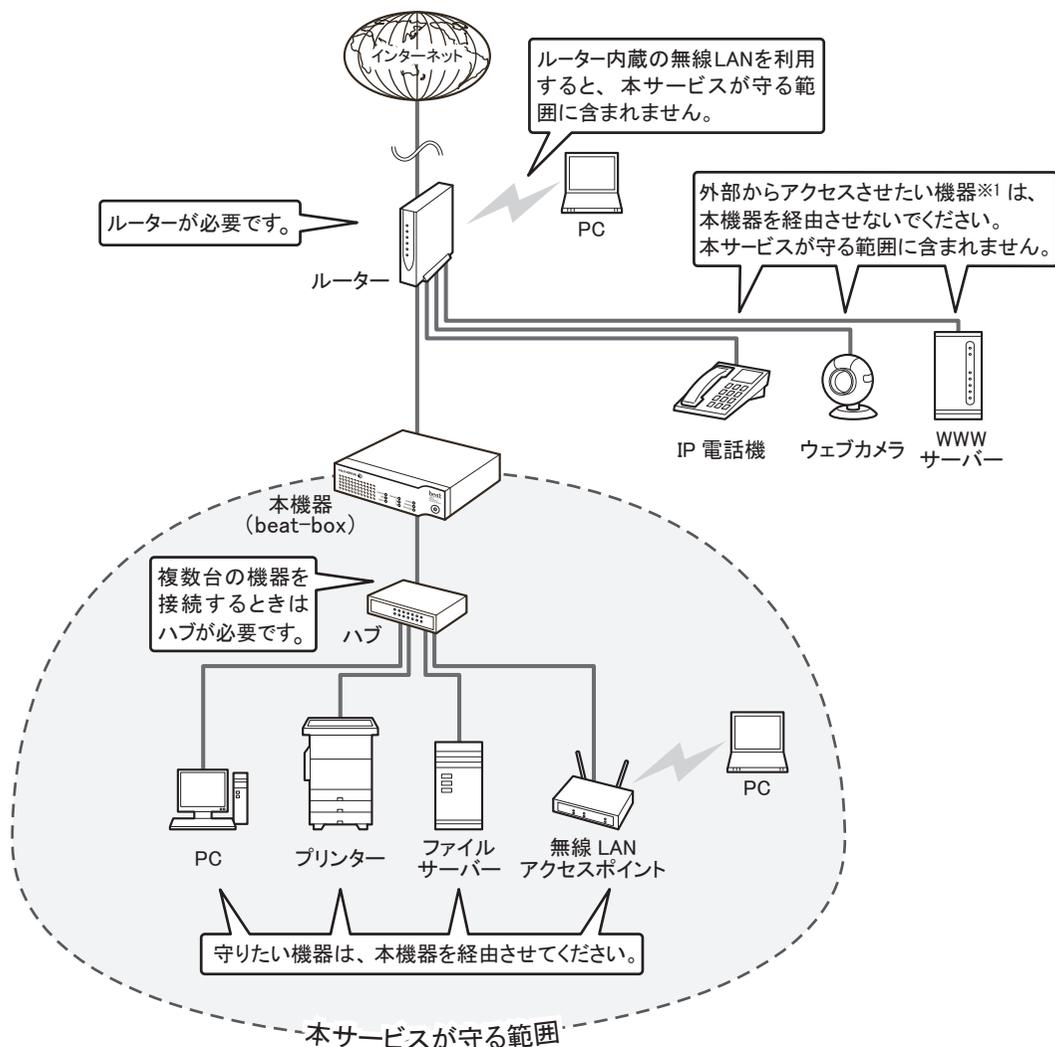
セットアップの前に

本サービスを利用するために、お客様のネットワーク環境を確認し、必要に応じてネットワーク構成の変更を行ってください。

※本機器はまだ設置しないでください。「セットアップ」(30 ページ) で設置します。

知っておいていただきたいこと

本サービスは、さまざまなインターネットの脅威から PC などを守ります。下図のように本サービスが守る範囲は beat-box の配下となります。

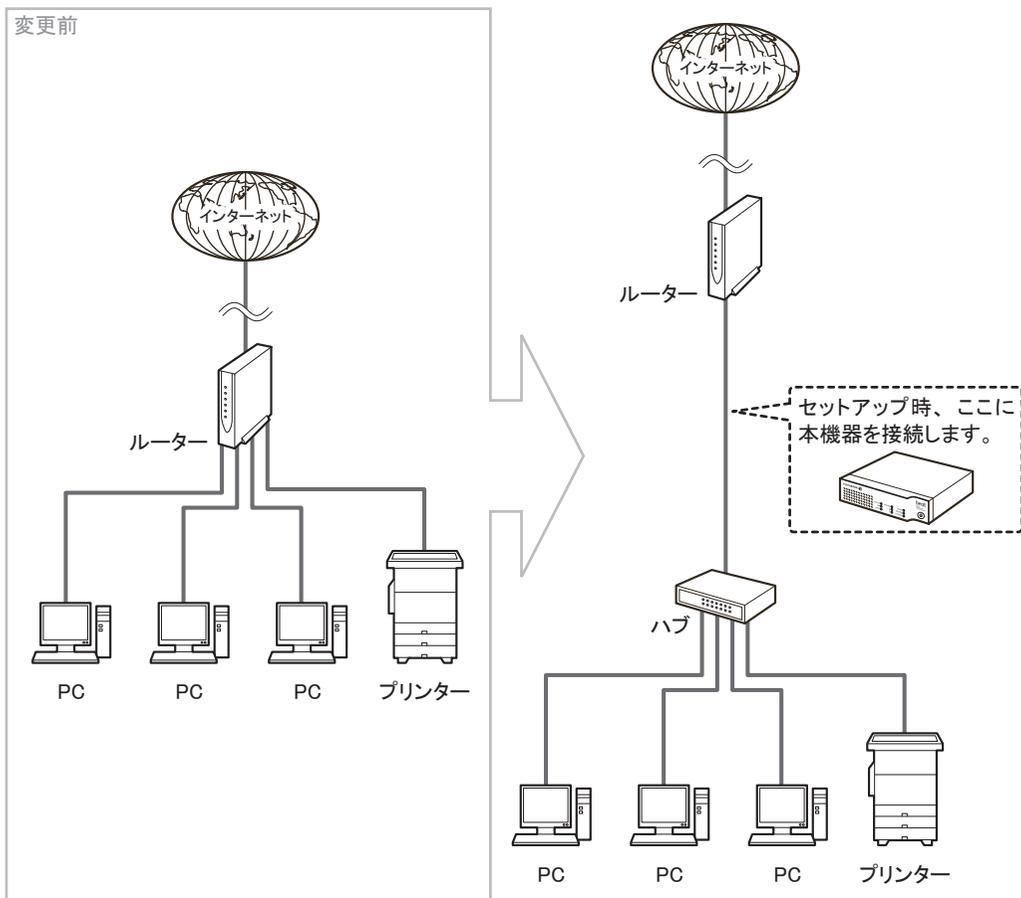


※1「本サービスが守る範囲」内の機器からこれらの機器に、コンピューター名 (NetBIOS 名) でアクセスできなくなります。その場合には、コンピューター名の代わりに IP アドレスを指定してください。

ネットワーク環境を確認してください

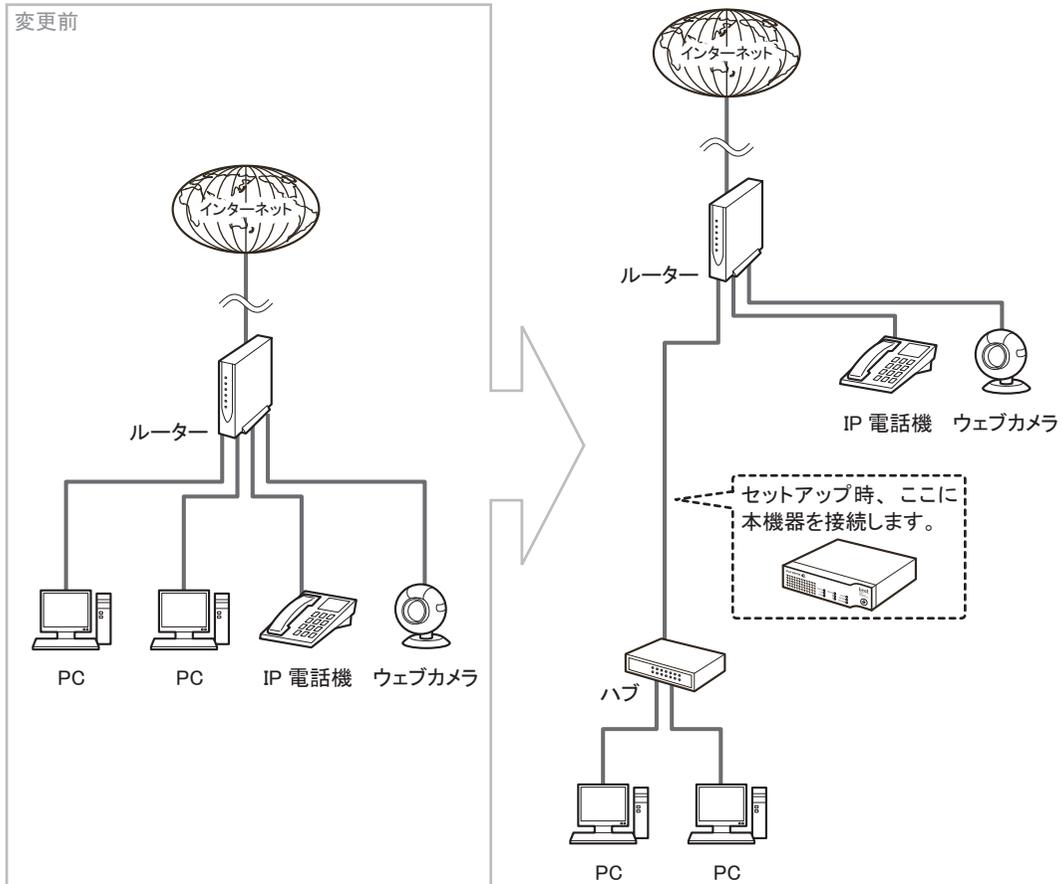
次の場合に該当するときは、ネットワークの変更が必要です。それぞれの場合ごとの、変更手順に従ってください。ネットワークを変更したのちに、すべての PC から Web 閲覧、メールの送受信が行えることを確認し、その後にセットアップ（30 ページ）を行ってください。

- ルーター（モデム内蔵ルーターを含む）を利用していない場合（26 ページ）
- ルーターに内蔵のハブ機能を利用している場合（27 ページ）
- 外部からアクセスさせたい機器（IP 電話やウェブカメラなど）を利用している場合（28 ページ）
- ルーター内蔵の無線 LAN 機能を利用している場合（29 ページ）



| | |
|-----------------------|---|
| <p>ご用意いただく 機器</p> | <p>ハブ</p> |
| <p>変更手順</p> | <p>ルーターに直接接続している機器 (PC など) が 2 台以上の場合には、ルーターに内蔵のハブ機能を利用しています。その場合には、この変更を行ってください。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 新たにハブを用意してください。 2 ルーターに接続されていた機器を、ハブに接続し直してください。 3 ハブをルーターに接続してください。 4 各機器が、変更前と同様に通信できることを確認してください。 |

外部からアクセスさせたい機器を利用している場合



| | |
|-----------------------|--|
| <p>ご用意いただく 機器</p> | <p>ハブ（必要に応じて）</p> |
| <p>変更手順</p> | <p>外部からアクセスさせたい機器とは、IP 電話、ウェブカメラ（ネットワーク接続タイプ）、社外公開用 WWW サーバーなどです。これらを利用している場合には、この変更を行ってください。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 本機器は外部からの通信を遮断します。そのため、外部からアクセスさせたい機器がある場合には、本機器を経由させないでください。ただし、それらの機器は本サービスが守る範囲に含まれません。 2 外部からアクセスさせない機器（守りたい機器）は、beat-box 配下になるようにします。必要に応じてハブが必要となります。 3 （すでに設定されているはずですが）別途ルーターには、外部からアクセスさせたい機器へのポートフォワードの設定が必要です。 4 各機器が、変更前と同様に通信できることを確認してください※1。 |

※1 beat-box 配下の機器から「外部からアクセスさせたい機器」に、コンピューター名（NetBIOS 名）でアクセスできなくなります。その場合には、コンピューター名の代わりに IP アドレスを指定してください。

セットアップ

はじめて本サービスをお使いになる場合は、セットアップ作業が必要です。

STEP 1 セットアップの手順を確認してください

STEP 1 セットアップの手順を確認してください

STEP 2 beat-boxを設置してください

STEP 3 ネットワーク環境に接続してください

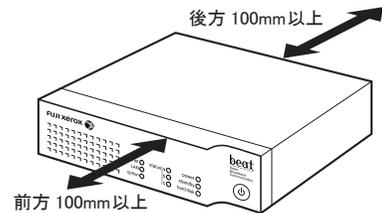
STEP 4 電源をオンにしてください

STEP 5 セットアップ画面の指示にしたがってください

セットアップ完了

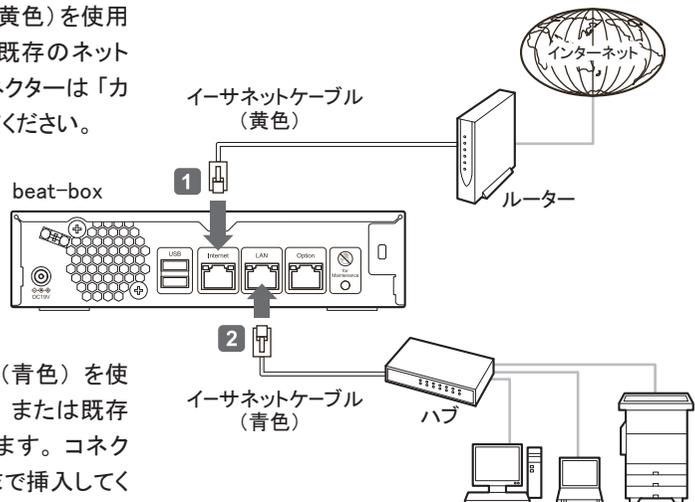
STEP 2 beat-boxを設置してください

- 1 本機器を前 100mm、後 100mm 以内に PC や壁がない場所に設置してください。
換気が悪くなると本体内部の温度が上昇し、誤作動、故障、火災の原因となるおそれがあります。
本機器を横置き以外に設置しないでください。



STEP 3 ネットワーク環境に接続してください

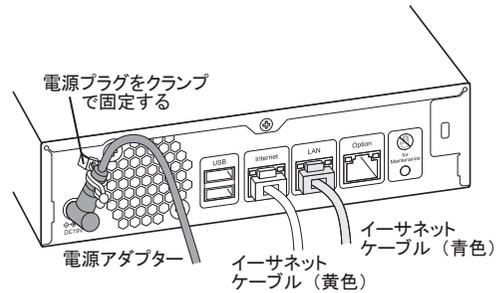
- 1 付属のイーサネットケーブル(黄色)を使用して、本機器とルーターなど既存のネットワーク機器と接続します。コネクタは「カチッ」と音がするまで挿入してください。



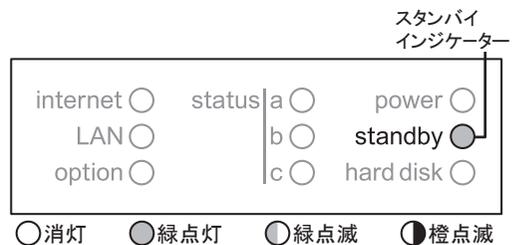
- 2 付属のイーサネットケーブル(青色)を使用して、本機器とハブやPC、または既存のネットワーク機器と接続します。コネクタは「カチッ」と音がするまで挿入してください。

STEP 4 電源をオンにしてください

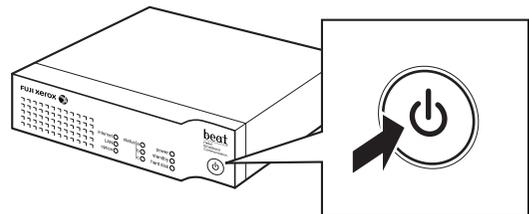
- 1 付属の電源アダプターの電源プラグを本体背面の電源ジャックに接続します。電源プラグの抜け防止のため、クランプで電源プラグを固定します。



- 2 電源コードの電源プラグを電源コンセントに差し込みます。
スタンバイインジケータが緑点灯したことを確認します。

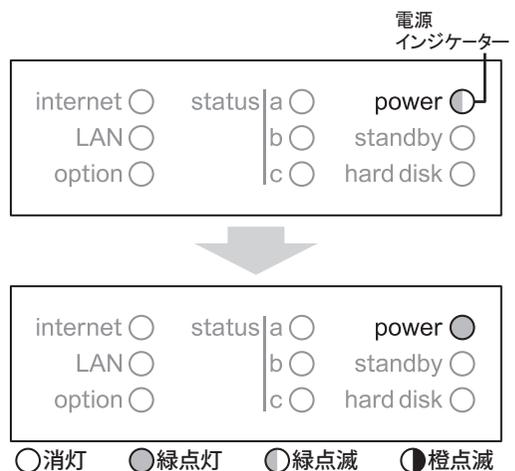


- 3 電源スイッチを押します。
スタンバイインジケータが消灯し、電源インジケータが緑点滅になります。



- 4 電源インジケータが緑点滅から緑点灯になるまで、しばらくお待ちください。

補足 15分以上電源インジケータの緑点滅が続く場合は、beat コンタクトセンターへご連絡ください。



STEP 5 セットアップ画面を開いてください

1 PC でブラウザを起動します。

2 アドレス欄に『http://beat-box.net-beat.com:8080/』と入力します。



3 セットアップ画面が表示されます。

補足 セットアップ画面にアクセスできない場合は、本機器が再起動を行っています。
3分後に再度アクセスしてください。

4 これより先のセットアップ作業は、画面の指示にしたがってください。お客様のネットワーク環境によって表示される画面は異なります。

ネットワーク接続設定の画面が表示された場合は

イーサネットポート (Internet) に接続されたルーターにて DHCP が提供されている場合には、自動設定で完了します。そうでない場合には、この「ネットワーク接続設定」の画面が表示され、手動での設定が必要となります。

【DHCP が提供されている場合】

セットアップ画面を開いたタイミングによっては、DHCP が提供されているにもかかわらず自動設定処理が完了していないためにこの画面が開かれることがあります。

その場合には、「ネットワーク接続方式」を [自動 (DHCP)] にしたまま、[適用] ボタンをクリックします。

【DHCP が提供されていない場合】

DHCP が提供されていない場合には、まず beat-box に IP アドレスを割り当ててください。次に「ネットワーク接続方式」を「手動 (固定 IP)」にして、次の項目を入力します。

- [beat-box の IP アドレス]
beat-box に割り当てた IP アドレスを入力してください。

・ [サブネットマスク]
beat-box を含むサブネットのマスクを “255.255.255.0” のように入力してください。

・ [デフォルトゲートウェイ]
ルーターの LAN 側の IP アドレスを入力してください。

・ [プライマリー DNS の IP アドレス]
ルーターに設定されているプライマリー DNS の IP アドレスを入力してください。

・ [セカンダリー DNS の IP アドレス]
ルーターに設定されているセカンダリー DNS の IP アドレスを入力してください。これは省略可能です。

入力が終わったら、[適用] ボタンをクリックしてください。

beat-boxのセットアップ
ネットワーク接続設定

beat
Hello!
Broadband
Communication.

beat-boxのIPアドレスや、デフォルトゲートウェイ、beat-boxが参照するDNSサーバーなどの設定の変更を行います。

ネットワーク接続方式を「手動 (固定IP)」にした場合、*印の項目は入力が必要になります。

| | |
|--------------------|--|
| ネットワーク接続方式: | <input type="button" value="手動 (固定IP)"/> |
| *beat-boxのIPアドレス: | <input type="text"/> |
| *サブネットマスク: | <input type="text" value="255.255.255.0"/> |
| *デフォルトゲートウェイ: | <input type="text"/> |
| *プライマリーDNSのIPアドレス: | <input type="text"/> |
| セカンダリーDNSのIPアドレス: | <input type="text"/> |

* MACアドレスでネットワークアクセス管理を行っている場合、beat-boxのMACアドレスとして「08-00-B9-1F-2B-4E」を必要な欄に設定してください。

beat-box 責任者登録の画面が表示された場合は

beat-box 責任者とは、本サービスの管理・運用を担う利用者で、ほぼすべての設定を行うことができます。

beat-box 責任者として登録するかたのメールアドレスを入力し、[登録] ボタンをクリックしてください。

beat-boxのセットアップ
beat-box責任者登録

beat
Hello!
Broadband
Communication.

beat/entryサービスをご利用いただきありがとうございます。

次の機能をご利用になる場合には、beat-box責任者が必要です。そのため、beat-box責任者の登録をお願いします。

- 迷惑メール判定機能
- ファイル共有ソフトウェアやメッセージャーなどの通信禁止 (ウイルス感染や情報漏洩の防止)
- メール送信の制限 (情報漏洩の防止や私的通信の禁止)
- 複合機・プリンター管理など

週間レポート、障害情報、メンテナンス情報、ご注意ください。状況のお知らせ、新機能や新オプションサービスなどのお知らせなどをbeat-box責任者宛にメールでお知らせします。

| | |
|---------------|----------------------|
| メールアドレス: | <input type="text"/> |
| メールアドレス(確認用): | <input type="text"/> |

例) fuji taro@fujixerox.co.jp

※注意: ● 携帯電話、PHSなどのメールアドレスは入力しないでください。
● メールアドレスのローカルパート(＠より前の部分)がbeat設定ページのログインIDになります。

beat-box 責任者登録が完了すると、

beat-box 責任者のメールアドレス、ログイン ID、パスワードが表示されます。ログインIDとパスワードは、本サービスの設定や管理を行う「beat 設定ページ」へのログイン時に必要になります。

beat-box責任者が登録されました。

| | |
|----------|---------------------------|
| メールアドレス: | fuji taro@fujixerox.co.jp |
| ログインID: | fuji taro |
| 初期パスワード: | (ユーザーズガイドを参照ください) |

初期パスワードは、本機器のシリアル番号です。

シリアル番号 (SER# につづく6桁の数字) は本機器上面に貼付してあります (18 ページ)。

5

セットアップ完了の画面が表示されたら、セットアップは完了です。

セットアップが完了すると、beat-box 責任者のメールアドレスとして登録したメールアドレス宛に「beat-box 責任者登録確認メール」が送信されます。

補足 「beat-box 責任者登録確認メール」が届かない場合には、次の原因が考えられます。

- ・メールの受信方式が SSL によるメール受信 (POP over SSL) や IMAP になっている。
この場合は、本書の「SSL によるメール送受信と IMAP の利用方法」(42 ページ)を参照してください。
- ・登録されたメールアドレスが間違っている。
この場合は、登録されたログインIDで beat 設定ページにログインし、「設定」、「自身の設定」の順にメニューをたどり、「利用者情報変更」でメールアドレスを修正してください。
※ メールアドレスを修正しても、「beat-box 責任者登録確認メール」は送信されません。
- ・このメールには、URL が含まれるため、迷惑メールと誤判定されることがあります。
迷惑メールフォルダーや削除済みフォルダーの確認をお願いします。誤判定されていた場合、今後の beat-box 責任者宛のメールを受信するために、beat-box@net-beat.com からのメールを許可するなどの対応をお願いします。

補足 インジケータの往復点灯が始まると、セキュリティー機能が働きます。それ以前でもメールや Web 閲覧などは行えますが、セキュリティー機能は働いていませんのでご注意ください。

セットアップ完了

セットアップが完了しました。この時点で、以下の機能が自動的に有効になりました。

- ・ファイアウォール
- ・メールのアンチウイルス
- ・Web 閲覧のアンチウイルス
- ・ftp のアンチウイルス
- ・不正な通信対策 (IPS: 攻撃防御システム)

上記以外の機能（迷惑メール判定機能や各オプションサービスなど）を利用するには設定が必要です。詳細は次のページからはじまる「利用編」を参照してください。

利 用 編

beat設定ページを開く

beat設定ページにログインする

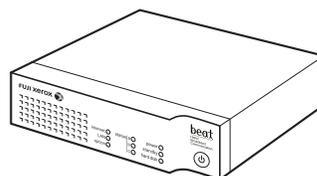
オンラインヘルプを見る

電源オン・電源オフの方法

SSLによるメール送受信とIMAPの利用方法

メールのアンチウイルスは必須です

SSLによるホームページ閲覧(https)について



セットアップ後に自動的に働きはじめる機能

本機器への設定、メールソフトやブラウザの設定変更は不要です。

本サービスをご利用する前と同じように、メールの送受信や Web ページの閲覧などをしてください。

- ・ ファイアウォール
- ・ メールのアнтиウイルス
- ・ Web閲覧のアンチウイルス
- ・ ftpのアンチウイルス
- ・ 不正な通信対策 (IPS: 攻撃防御システム)

利用のために設定が必要な機能

利用環境や目的に合わせて本サービスへの設定が必要です。メールソフトやブラウザの設定変更は不要です。

- ・ 上記以外の基本機能
 - 迷惑メール判定、不正な通信対策（アプリケーションの通信禁止）、ApeosPort 連携、複合機 / プリンター管理、文書ストレージ など
- ・ 各オプションサービス
 - beat コンテンツフィルターサービス、beatPC 用アンチウイルスサービス、baat/entry リモートアクセスサービス、安心ファクスサービス、beat オンデマンドサービス for DocuWorks など

メール送信制限や、ウイルス感染など、いくつかの理由によってメール送受信を止める場合があります。その場合には、メール送受信を止めた理由とお願いしたい対処方法を、メールの送信者または受信者、beat-box責任者の適切なかたに、メールで通知いたします。メールの内容にしたがって対処をお願いします。

この「利用編」では、本サービスを利用するために必要な設定や、特に注意していただきたいことについてご説明しています。各機能の内容や設定方法については、オンラインヘルプ（39 ページ）を参照してください。

beat設定ページを開く

beat 設定ページとは、本サービスの利用や設定を行う、本機器上の Web ページです。

- 1 PCでブラウザを起動し、アドレス欄に『<http://beat-box.net-beat.com:8080/>』と入力します。



- 2 beat設定ページが表示されます。

補足 beat設定ページを利用するにはログインが必要です。ログイン方法は次のページを参照してください。

beat Hello! Broadband Communication ログイン

ホーム | 利用 | 設定 | ヘルプ

■ ホーム

このWWWサービスは、beatサービスを利用する際に必要な機能を提供するものです。それ以外にオンラインヘルプなどを参照することもできます。

まず、右上のメニューを選択し、次に左側のメニューを選択してください。利用者の確認を求められましたら、ログインIDとパスワードを入力してください。

右上のメニューの主な内容は次のようになっています。

- ホーム
 - このページです。
- 利用
 - レポート参照
 - PC用ソフトウェアのダウンロード
 - 変更注文の申し込み
 - 複合機/プリンター管理
 - beat-box停止・再起動
- 設定
 - 各利用者自身の設定変更
 - 各利用者の管理
 - beat-box責任者の管理
 - PC用ソフトウェアのライセンス管理
 - リモートアクセス管理
 - コンテンツフィルタ管理
 - 迷惑メール判定管理
 - ApeosPort連携管理
 - 文書ストレージ管理
 - Working Porta管理
- ヘルプ
 - 基本サービスの説明と操作方法
 - オプションサービスの説明と操作方法
 - マニュアルダウンロード
 - お問い合わせ窓口
 - サイトマップ
 - ヘルプ検索

※ ネットワーク接続設定などの、より高度なネットワークの設定や、beat-boxのシステム内部の詳細情報等の参照には、高度な設定ツールをご利用ください。

beat設定ページにログインする

beat 設定ページにログインするためには、利用者 (beat-box 責任者を含む) として登録されている必要があります。セットアップ手順で beat-box 責任者として登録されたかたは、他のかたを利用者として登録することができます。

- 1 beat 設定ページを開きます。
手順は 37 ページを参照してください。

- 2 画面右上にある[ログイン]をクリックして、「ログイン」画面に移動します。



- 3 ログイン ID とパスワードを入力し、[ログイン] ボタンをクリックします。

補足 パスワードは「●」や「*」などで表示されます。

補足 ログイン ID、パスワードを忘れてしまった場合は、beat-box 責任者に問い合わせてください。[beat-box 責任者] をクリックすると beat-box 責任者一覧が表示されます。

- 4 ログインが成功すると、画面右上に[<ログインした人の名前>のログアウト]と表示されます。



- 5 利用したいメニュー項目をクリックし、設定などを行ってください。

補足 beat 設定ページの利用を終了したらログアウトしてください。ログアウトするには、[<ログインした人の名前>のログアウト] をクリックします。表示されたログアウト確認画面で [ログアウト] ボタンをクリックします。

オンラインヘルプを見る

本機器には beat-noc（ネットワークオペレーションセンター）との連携により常に最新のオンラインヘルプが用意されています。

1 beat 設定ページを開きます。
手順は 37 ページを参照してください。

2 [ヘルプ] をクリックします。
オンラインヘルプが表示されます。



3 閲覧したい項目をクリックします。

補足 オンラインヘルプに記載されていない内容については beat コンタクトセンターへお問い合わせください。

The image shows the main content area of the beat online help page. On the left is a sidebar with a search bar and a list of navigation items: トップページ (Top Page), はじめに (Introduction), 基本サービス (Basic Services), オプションサービス等 (Optional Services), ダウンロード (Download), お問い合わせ窓口 (Contact Us), and サイトマップ (Site Map). The main content area is titled 'beat ヘルプ' and contains several sections:

- トップページ**: Introduction text about the help page.
- はじめに**: A list of links for '利用前にお読みください', 'beat サービス', 'beat-box', 'PCなどの設定', '利用者とbeat-box責任者', and 'beat設定ページ'.
- 基本サービス (beat/entry)**: A grid of links for 'ファイアウォール', 'ウイルスチェック', '利用者管理', 'メールサービス', 'ライセンス管理', '複合機/プリンター管理', 'AposPort連携', '文書ストレージ', 'Working Portal (トライアルサービス)', and '高度な設定'.
- オプションサービス等**: A grid of links for 'リモートアクセス', 'beat/anti-virus', 'beat/DocuWorks', 'コンテンツフィルター', and '安心ファクス'.

At the bottom of the page, there is a footer with the text: トップページ | ダウンロード | お問い合わせ窓口 | サイトマップ.

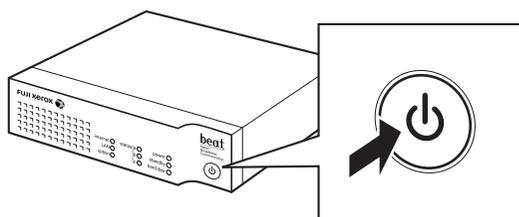
電源オン・電源オフの方法

電源オンの方法

- 1** スタンバイインジケータが緑点灯していることを確認します。
緑点灯していない場合は、背面の電源ジャックに電源アダプターが正しく差し込まれていることを確認してください。



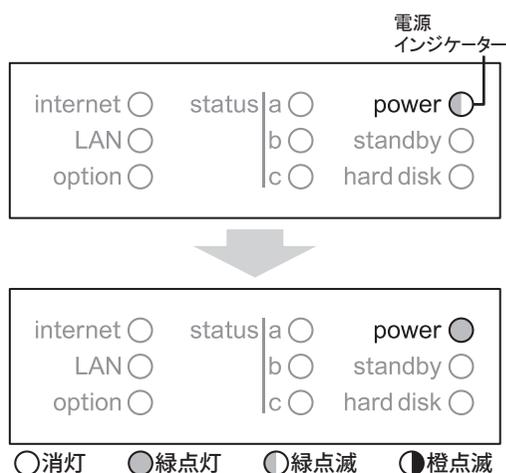
- 2** 電源スイッチを押します。
スタンバイインジケータが消灯し、電源インジケータが緑点滅になります。



- 補足** 電源をオフにしてから、次に電源をオンにするまでの間は、10 秒以上の間隔を空けてください。

- 3** 電源インジケータが緑点滅から緑点灯になるまで、しばらくお待ちください。

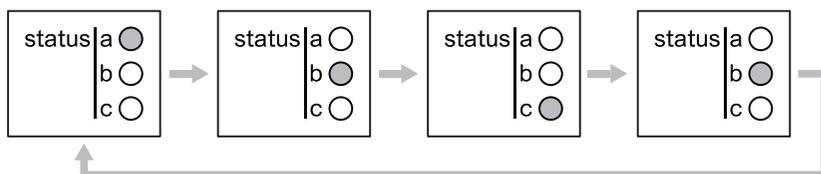
- 補足** 15 分以上電源インジケータの緑点滅が続く場合は、beat コンタクトセンターへご連絡ください。



- 4** 起動が完了し正常稼働が始まると、ステータスインジケータ a、b、c は下図のように緑点灯が上下に往復します。

正常稼働時
(往復点灯)

※ 1 サイクル 4 秒

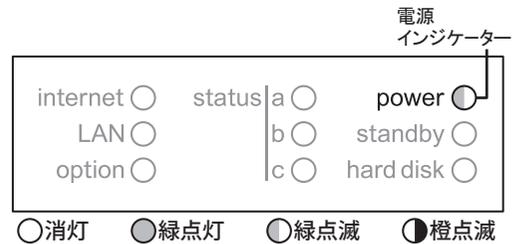
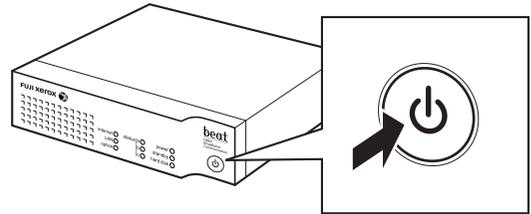


電源オフの方法

電源オフの方法には電源スイッチの操作により行うものと、beat 設定ページから行うものの 2 種類があります。本書では電源スイッチの操作により行う方法を説明します。beat 設定ページから行う方法についてはオンラインヘルプ（39 ページ）を参照してください。

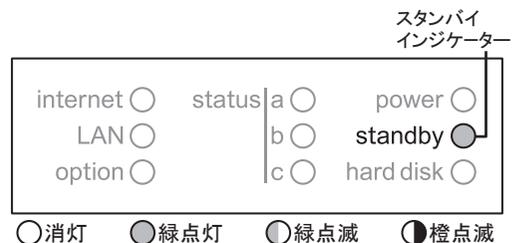
- 1 電源スイッチを押します。約 10 秒後にシャットダウンが開始されます。
電源インジケータが緑点滅になります。

補足 15 分以上電源インジケータの緑点滅が続く場合は、beat コンタクトセンターへご連絡ください。



- 2 シャットダウンが完了すると、電源インジケータが消灯し、スタンバイインジケータが緑点灯になります。必ず電源インジケータが消灯したことを確認してください。

補足 背面の電源ジャックから電源アダプターを外すと、スタンバイインジケータが消灯します。



SSLによるメール送受信とIMAPの利用方法

本サービスの初期状態では、ウイルス感染を防止するために SSL によるメール送受信と IMAP の通信を禁止しています。次の設定によって、SSL によるメール送受信と IMAP を利用できます。

- 1 beat-box 責任者のかたが beat 設定ページにログインします。ログイン方法は 38 ページを参照してください。
- 2 「設定」、「高度な設定」、「メールセキュリティ設定」の順にメニューをたどり、「IMAP・SSL 通信制御」で「ウイルスチェックされないメール通信を遮断する」のチェックを外してください。

この設定を行うと、SSL によるメール送受信と IMAP がともに利用できるようになります。しかし、本サービスはこれらのメール送受信に対するアンチウイルスを行うことができません。上記の設定を行う前に、次のページのフローにしたがって「メールのアンチウイルスが行われます」となる状態での利用をおすすめします。また、SSL によるメール送受信と IMAP に対しては迷惑メール判定も行えません。

メールのアンチウイルスは必須です

SSL は通信内容を暗号化したり、通信相手を認証したりする仕組みです。そのため、盗聴やなりすましを防ぐために有効な場合があります。

メール送受信に SSL を利用することで、メールソフトとメールサーバー間の通信の盗聴を防ぐことができます。しかし、相手のメールソフトとメールサーバー間は相手のかたの設定に依存します。メールサーバー間は暗号化されません。

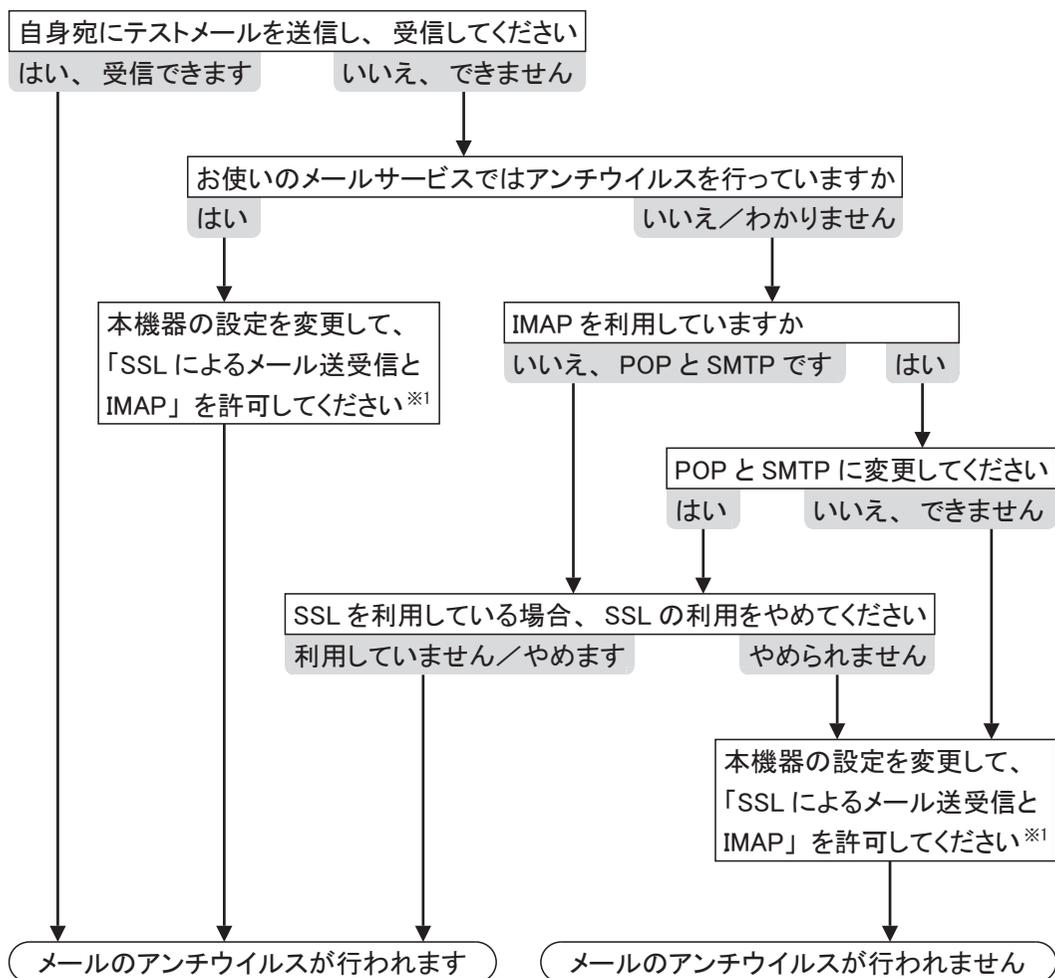
通信内容が暗号化されていると、アンチウイルスや迷惑メール判定といった、メールの内容を判読して実施されるセキュリティ処理が実行できません。

メールは、多数の送信者から送られてきます。中には、感染データを故意に送りつけてくることもあります。また、信頼できるかたからのメールであっても、そのかたの PC が感染していると感染データが添付されることがあります。そのため、SSL により盗聴を防ぐメリットよりも、アンチウイルスが行えないデメリットの方が大きいと言えます。

IMAP に関しては、本サービスが対応していないためにアンチウイルスを行えません。そのため、初期状態においては禁止しています。

SSL によるホームページ閲覧 (https) について

ホームページ閲覧では、SSL は、クレジットカード番号に代表される機密性の高い情報を交換する際に用いられます。機密性の高い情報を交換する相手の WWW サービスにおいて、ウイルスに感染する可能性はかなり小さいと考えられます。また、SSL の利用を利用者側で選ぶことはできません。そのため、本サービスでは、ホームページ閲覧の SSL(https) や ftp の SSL(ftps) はアンチウイルス処理を行わずに通過させています。

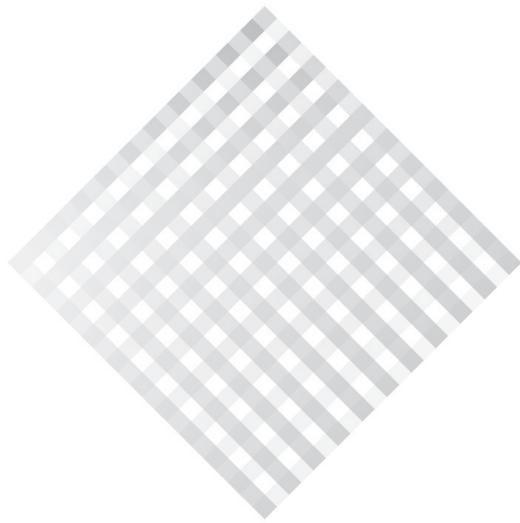


※1 この設定変更は、本機器をご利用のすべてのかたに適用されます。

迷惑メール判定について

迷惑メール判定を利用するためには、本サービスへの設定が必要です。設定方法については、オンラインヘルプ(39ページ)を参照してください。

また、アンチウイルスと同じ理由により、SSLによるメール送受信とIMAPに対しては迷惑メール判定を行うことはできません。



付 録 編

困ったときは

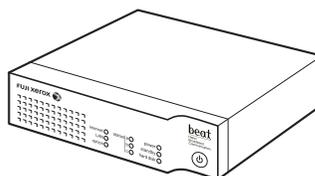
- インターネットに接続できない
- メールが受信できない
- メールが送信できない
- インジケータの点灯状態がいつもと違う

お問い合わせ窓口「beatコンタクトセンター」

- お問い合わせをする前に
beatコンタクトセンター

仕様

- beat/entryサービス
- beat-box



困ったときは

本サービスの利用中に、次のようなトラブルがあった場合、参照してください。

- ・ インターネットに接続できない（47 ページ）
- ・ メールが受信できない（47 ページ）
- ・ メールが送信できない（48 ページ）
- ・ インジケーターの点灯状態がいつもと違う（48 ページ）

トラブルが解決しないときや、上記以外の障害の場合は、次のオンラインヘルプやお客サポートサイトを参照してください。もしくは beat コンタクトセンターにお問い合わせください。

■ オンラインヘルプ

本サービスの機能の説明、操作方法などを説明しています。閲覧方法は 39 ページを参照してください。

■ お客サポートサイト <http://net-beat.com/support/>

本サービスに関する最新情報や障害・メンテナンス情報、FAQなどを公開しています。

■ beat コンタクトセンター

電話、FAX、お問い合わせフォームにてお問い合わせいただけます。詳細は50ページを参照してください。

インターネットに接続できない

- (1) ステータスインジケーターが、正常稼働を表す往復点灯しているかどうかを確認してください（往復点灯については、「インジケーター」（20 ページ）を参照してください）。
→往復点灯している場合は、(3) の手順に進んでください。
→往復点灯以外の場合は、(2) の手順に進んでください。
- (2) 往復点灯以外の場合は、「インジケーターが表す動作状態と対処方法」（20 ページ）を参照し、「お願したい対処方法」を実施してください。往復点灯になってもインターネットに接続できない場合は、(3) の手順に進んでください。
- (3) ハブや無線 LAN のアクセスポイントなどを利用している場合は、PC がそれらと正しく接続されていることを確認してください。
- (4) beat コンタクトセンターへご連絡ください。
※障害情報などを確認するため、ご利用の回線提供元やプロバイダー（ISP）についてお聞きする場合があります。契約内容の確認ができる書面を事前にご用意いただくと、対応がスムーズです。

メールが受信できない

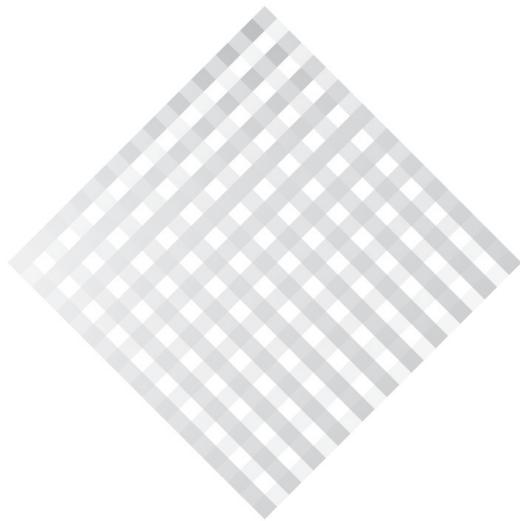
- (1) インターネットに接続できることを、確認してください。
インターネットに接続できない場合は、「インターネットに接続できない」（47 ページ）を参照してください。
- (2) メール受信プロトコルに、POP を利用しているかどうかを確認してください。
→POP 以外を利用している場合、(3) の手順に進んでください。
→POP を利用している場合、(4) の手順に進んでください。
- (3) 本サービスから beat-box 責任者宛に通知メール（件名：メール通信の遮断）が届いているかどうかを beat-box 責任者に確認してください。
→通知メールが届いている場合は、それに記載されている対処方法を、beat-box 責任者に実施していただいでください。
→通知メールが届いていない場合は、(4) の手順に進んでください。
- (4) 利用しているプロバイダー（メールサービス）との契約情報を確認し、メールソフトの設定が正しいことを確認してください。
- (5) beat コンタクトセンターへご連絡ください。
※障害情報などを確認するため、ご利用の回線提供元やプロバイダー（メールサービス）についてお聞きする場合があります。契約内容の確認ができる書面を事前にご用意いただくと、対応がスムーズです。

メールが送信できない

- (1) インターネットに接続できることを確認してください。
インターネットに接続できない場合は、「インターネットに接続できない」(47 ページ)を参照してください。
- (2) 本サービスから自身宛に通知メール(件名:メール送信の遮断)が届いているかどうかを確認してください。
→通知メールが届いている場合は、それに記載されている対処方法を実施してください。
→通知メールが届いていない場合は、(3)の手順に進んでください。
- (3) メール送信プロトコルに、SMTP(ポート 25 または 587 番)を利用しているかどうかを確認してください。
→SMTP 以外を利用している場合、(4)の手順に進んでください。
→SMTP を利用している場合、(5)の手順に進んでください。
- (4) 本サービスから beat-box 責任者宛に通知メール(件名:メール通信の遮断)が届いているかどうかを beat-box 責任者に確認してください。
→通知メールが届いている場合は、それに記載されている対処方法を、beat-box 責任者に実施していただいでください。
→通知メールが届いていない場合は、(5)の手順に進んでください。
- (5) 利用しているプロバイダー(メールサービス)との契約情報を確認し、メールソフトの設定が正しいことを確認してください。
- (6) beat コンタクトセンターへご連絡ください。
※障害情報などを確認するため、ご利用の回線提供元やプロバイダー(メールサービス)についてお聞きする場合があります。契約内容の確認ができる書面を事前にご用意いただくと、対応がスムーズです。

インジケータの点灯状態がいつもと違う

- (1) ステータスインジケータが、正常稼働を表す往復点灯をしているかどうかを確認してください(往復点灯については、「インジケータ」(20 ページ)を参照してください)。
- (2) 往復点灯以外の場合は、「インジケータが表す動作状態と対処方法」(20 ページ)を参照し、「お願いしたい対処方法」を実施してください。



お問い合わせ窓口「beatコンタクトセンター」

お問い合わせをする前に

お問い合わせをする前に、下記の内容もぜひご覧ください。

■ 本書

セットアップ方法や本サービスの概要、困ったときの対処方法などを掲載しています。

■ オンラインヘルプ

本サービスの機能の説明、操作方法などを説明しています。閲覧方法は 39 ページを参照してください。

■ お客様サポートサイト <http://net-beat.com/support/>

本サービスに関する最新情報や障害・メンテナンス情報、FAQなどを公開しています。

beatコンタクトセンター

事前にご用意ください

お問い合わせには本機器のシリアル番号が必要になります。シリアル番号（**SER#**につづく6桁の数字）は本機器上面に貼付してあります（18 ページ）のでお問い合わせの前にご確認ください。

お問い合わせ時にお知らせください

迅速な解決のために、お問い合わせ時には下記の内容を分かる範囲でお知らせください。

- 1) お客様の会社名、氏名、連絡先（住所、電話番号など）
- 2) 使用している PC の OS
- 3) インジケータの点灯状態
- 4) 現在の状態（エラーメッセージやその状態になったときの操作内容）

beatコンタクトセンター

電話 0120-126414

FAX 045-650-7666

Web <http://net-beat.com/support/>
お客様サポートサイト「お問い合わせ」より

受付時間

8:00 ~ 21:00（平日）

9:00 ~ 18:00（土曜、日曜、祝日、
12月31日～1月3日）

※beatコンタクトセンターからのご連絡は
9:00以降とさせていただきます。

上記の窓口では、お問い合わせやご依頼の内容を正確に把握するため、また後に対応状況を確認するため、通話を録音させていただく場合がございます。あらかじめご了承ください。

beatコンタクトセンターでは、本サービス以外のお問い合わせ（PC やソフトウェアの操作、接続機器などの設置・設定など）につきましては、お応えできかねますので購入先の販売店・メーカーのサポートセンターへお問い合わせください。また、日本国外からのお問い合わせや、日本国外での利用に関するお問い合わせにはお答えできません。

beatコンタクトセンターでは、beat-noc（ネットワークオペレーションセンター）からお客様の利用環境に関する障害情報を取得した場合に、お客様に対して障害発生 の報告と状況確認のために電話にてご連絡することがあります。

仕様

beat/entry サービス

本サービスで提供する主な機能は次の通りです。各機能は、適用範囲や性能などに次の制限があります。また、本サービスの機能や操作方法は予告なく変更される場合があります。あらかじめご了承ください。

| | |
|----------------------|---|
| <p>アンチウイルス</p> | <p>次の通信を対象としてウイルスチェックを行います。ウイルスを検知した場合には通信を遮断したり、メールの送受信を中止します。ただし、いずれの場合も SSL/TLS (STARTTLS を含む) は除きます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ http (ポート 80 番) (双方向) ・ ftp (ポート 21 番およびデータコネクション) (双方向) ・ pop3 (ポート 110 番) ・ smtp (ポート 25 および 587 番) <p>次のファイルは対象となりません。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 圧縮ファイルで rar、zip、jar、tar、tgz、tar.gz、gz、bz2、cab、arj、7z、iso、lzh 以外のもの ・ 自動解凍ファイルで zip-sfx、rar-sfx、7z-sfx、cab-sfx、nsis install 以外のもの ・ 圧縮ファイルやアプリケーションファイルでパスワード保護や暗号化されているもの ・ 一定サイズ以上のファイル (攻撃を防ぐために具体的な上限値は公表を控えさせていただきます) <p>次の場合にはウイルスを検知できない場合があります。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 新種のウイルス |
| <p>ファイアウォールおよび通信</p> | <p>本機器のインターネット側ネットワークから LAN 側ネットワークへ接続要求を行うすべての通信を遮断します。NetBIOS の名前解決を行うための通信も遮断されるため、beat-box よりインターネット側にある PC 等の機器を、LAN 側ネットワークから、NetBIOS 名でブラウジングすることができなくなります。ただし、同一セグメント内でのアドレス解決を行うための通信は遮断しません。ブリッジモードで動作するため、ARP パケットと DHCP パケットは通過させます。LAN 側から接続要求を行う通信のうち、次の通信は初期状態では禁止しています。設定によって通過させることが可能です。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ pop3 over SSL/TLS (ポート 995 番) ・ pop3 over SSL/TLS (ポート 110 番で STARTTLS によるもの) ・ smtp over SSL/TLS (ポート 465 番) ・ smtp over SSL/TLS (ポート 25、587 番で STARTTLS によるもの) ・ imap (ポート 143 番) ・ imap over SSL/TLS (ポート 143、993 番) <p>LAN 側から接続要求を行う通信のうち、次の通信は遮断されることがあります。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ RFC (事実上の通信プロトコルの標準規約) に従わない通信 <p>アンチウイルス、不正な通信対策などの機能を実行するために通信速度が低下することがあります。</p> |

| | |
|-------------------------|--|
| 不正な通信対策（IPS : 攻撃防御システム） | 不正な通信を遮断します。ただし、すべての不正な通信を遮断するものではありません。まれに、正常な通信を誤検知して遮断することがあります。 |
| 不正な通信対策（アプリケーションの通信禁止） | <p>情報漏洩やウイルス感染などの危険性がある、特定のアプリケーションによる通信を遮断します。遮断可能なアプリケーションについての詳細はオンラインヘルプで確認してください。アプリケーションは増減する可能性があります。以下は対象アプリケーションの例です。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ P2P <ul style="list-style-type: none"> Winny Gnutella (Cabos、Limewire) など BitTorrent ・ メッセンジャー <ul style="list-style-type: none"> Windows Live (MSN) メッセンジャー ICQ など Yahoo! メッセンジャー ・ リモートアクセス <ul style="list-style-type: none"> VNC (RealVNC) beat リモートアクセスおよび PPTP など PacketiX (SoftEther) <p>まれに、指定したアプリケーション以外の通信を誤検知して遮断することがあります。</p> |
| 迷惑メール判定 | 受信するメールのうち迷惑メールを判定し、判定したメールの件名（タイトル）の先頭に指定された文字列を付与します。利用のためには、手動で機能をオンにいただく必要があります。迷惑メールにもかかわらず迷惑メールと判定されない場合があります。まれに、正常なメールを迷惑メールと判定することがあります。 |
| メール送受信 | <p>メール送信可能なメールアドレス数は、ご契約いただいた利用者数が上限です。初期状態では、送信メールアドレスは自動登録されます。そのため、メールアドレス数以外の制限はかかりません。自動登録の場合には、約 2 週間送信しないと、その送信メールアドレスは自動的に抹消されます。それ以前に不要な送信メールアドレスを抹消するためにはお客様の操作が必要です。</p> <p>送信メールアドレスを手動登録にすることで、指定しないメールアドレス以外からの送信を禁止することができます。メール送信時にメールサービスが送信を拒否した場合には、一旦送信が完了したのちに送信失敗を通知メールでお知らせすることがあります。</p> <p>メール受信に関する制限はありません。</p> |
| 複合機 / プリンター管理 | 複合機やプリンターの面数もしくは枚数の取得および表示、消耗品情報のメールによる通知などを行います。手動で機能をオンにし、対象とする機器を登録していただく必要があります。標準 MIB に対応していない機器の情報は取得できません。機種によって取得できない情報があります。また、取得した情報の意味が異なることがあります。詳細はオンラインヘルプを参照してください。 |
| レポート参照 | ファイアウォールへの攻撃、不正な通信対策、ウイルス検出、迷惑メール判定に関するレポートを表示できます。また、毎週レポートを beat-box 責任者宛にメールでお送りします。停電が発生すると、レポートの集計値の一部が失われ、正しい値を表示できなくなることがあります。 |

| | |
|----------------------------|--|
| beat-box責任者メール | <p>利用者数上限のためにメール送信ができない場合など、対処していただく必要がある状況が発生したとき、メールでお知らせします。また、メンテナンスや障害情報、新機能や新サービスについてもメールでお知らせします。</p> <p>メールの内容にお客様固有の情報が含まれる場合、盗聴を防ぐための対策がされています。beat-box 配下で受信した場合には内容が表示されますが、beat-box 配下以外で受信した場合には、本機器内の Web ページの URL が記載されています。内容を見るためには beat-box 配下で Web ページにアクセスする必要があります。このようにメールが URL を含む場合があるため、一部のプロバイダーの迷惑メール判定において、beat-box 責任者メールが迷惑メールと誤判定されることがあります。</p> |
| ApeosPort 連携 | <p>複合機の基本機能（コピー / スキャン / ファクス）を拡張します。富士ゼロックス製の複合機と beat-box を連携させることで、用紙の節約や紙文書の電子共有化などを、より簡単な操作で出来るようにします。</p> <p>利用のためには、対象とする機器を登録していただく必要があります。対応機種以外とは連携できません。また、対応機種であっても別途オプション契約が必要な場合があります。</p> |
| 文書ストレージ | <p>重要文書等のデータをインターネット上のデータセンターに保管します。データは、beat-box で暗号化され、相互に 100km 以上離れた 3 箇所のデータセンターに同一内容で保持されます。</p> <p>利用のためには、手動でサービスをオンにいただく必要があります。標準で 1GB まで保管することができます。文書の属性、検索用インデックスなども保持するため、必要なデータ総量は文書サイズの合計よりも大きくなります。一時的にデータセンター 2 箇所以下での保持になるケースがあります。注意事項や免責事項などの詳細については、文書ストレージの利用規約を参照してください。</p> |
| beat コンテンツフィルターサービス（オプション） | <p>暴力、アダルト、ギャンブルなどカテゴリーを用意し、指定されたカテゴリーに属する Web ページの閲覧を禁止します。手動で閲覧を制限したいカテゴリーやレベルを指定いただく必要があります。指定したカテゴリーに属すると考えられるすべての Web ページの閲覧が制限されるとは限りません。まれに、属さない Web ページの閲覧が制限されることがあります。</p> |
| beatPC用アンチウイルスサービス（オプション） | <p>PC 用のアンチウイルスソフトウェアをご提供します。契約いただいた数量以下の PC にインストールすることができます。サーバー用 OS では動作しません。動作要件の詳細はオンラインヘルプを参照してください。新種のウイルスは検知できない可能性があります。バージョンアップの際に、再インストールなどを実施していただくことがあります。</p> |
| beat/entry リモートアクセス（オプション） | <p>出張先や自宅の PC から、安全にオフィスの LAN へアクセスすることを可能にします。利用のためには、手動で利用者によりリモートアクセス権を付与していただく必要があります。また、インターネット接続可能な PC と専用ソフトウェアが必要です。同時接続数は 20 まで、連続接続時間は最大 24 時間（3 時間ごとに接続継続確認）です。接続方式は OpenVPN です。お互いのネットワークアドレスが異なっている必要があります。詳細はオンラインヘルプを参照してください。</p> |

| | |
|--|---|
| <p>安心ファクスサービス (オプション)</p> | <p>富士ゼロックス製の複合機と beat-box を連携させることで、複合機のファクス機能を拡張します。宛先表の管理、誤送信防止、送信履歴の参照、送信したファクス画像の保存などが可能になります。</p> <p>対応機種以外では利用できません。また、対応機種であっても別途オプション契約が必要な場合があります。同報通信はできません。</p> |
| <p>beat オンデマンドサービス for DocuWorks (オプション)</p> | <p>ドキュメントハンドリングソフトウェア、DocuWorks をご提供します。さまざまな文書データの処理を同一画面で行なえます。</p> <p>契約いただいた数量以下の PC にインストールすることができます。クライアント用ソフトウェアです。サーバー用 OS では動作しません。動作要件の詳細はオンラインヘルプを参照してください。パッケージ版と併用はできません。事前にパッケージ版をアンインストールしてください。</p> |

beat-box

| | |
|-------------------|--|
| ハードディスク | 80GB |
| インターフェイス / ネットワーク | 1000BASE-T/100BASE-TX/10BASE-T×3 |
| インジケータ | 電源、スタンバイ、ハードディスク、ステータス ×3、LAN×3 |
| 電源 | 電圧：AC100V ± 10%、1.5A、50/60Hz 共用 最大消費電力：50W 省エネ法に基づくエネルギー消費効率：h区分 0.0051 |
| サイズ | 本体：205(W) × 183(D) × 50(H)mm（ゴム足および突起部を含まず） 設置の際は、前面 100mm、背面 100mm 以上のスペースを必要とします。 |
| 重量 | 本体：1.4kg（電源アダプター除く） |
| 使用環境 | 温度：5～35℃ 湿度：20～80% |
| 基準適合 | VCCI ClassB、電気通信端末機器に関する技術基準（JATE 認定） |

このページは空白ページです。

— beatコンタクトセンター —

受付窓口 0120-126414（電話）

045-650-7666（FAX）

受付時間 8:00～21:00（平日）

9:00～18:00（土曜、日曜、祝日、

12月31日～1月3日）

※ beatコンタクトセンターからのご連絡は
9:00以降とさせていただきます。

※ 上記の窓口では、お問い合わせのご依頼の内容を正確に把握
するため、また後に対応状況を確認するため、通話を録音させ
ていただく場合がございます。あらかじめご了承ください。

— beatお客様サポートサイト —

<http://net-beat.com/support/>